

ゆずり葉コミュニティ定例役員会会議録

日 時 平成19年4月7日（火） 10:00～12:00
場 所 ゆずり葉コミュニティルーム
出席者 26名
議 長 国司事務局長（戸田代表都合により欠席）
記 録 総務 道之前

議題

国司議長は別紙資料(4月定例役員会のお知らせ)の議題について、説明に入った。

1. 平成19年度定時総会の議事について

①総会要綱

本日の役員会において平成19年度定時総会の議案を決定し、20日には配布を終えたい。従って各ブロックの役員・委員名簿は17日までに提出して頂きたいと述べた。

続いて総務道之前は、総会要綱の第4号議案平成19年度役員選任については、役員候補を別刷りにすると述べ、更に委員・役員名簿を各ブロック代表にFAXで送るので、校閲の上訂正が有れば連絡頂きたいと依頼した。

②第1号議案 平成18年度活動報告

・ブロック活動報告

各ブロック代表から順次、総会要綱第1号議案平成18年度活動報告に基づき説明があり、一部字句の訂正及び活動事項を追加することになった。

・部会活動報告

各部から順次、部会活動報告を要綱に基づき説明があった。

その後、役員から発言があり、総合活動報告に諮問委員会及び地域創造会議の記述が脱漏している旨の指摘があり、国司議長は両事項を加筆する旨答弁した。

③第2号議案 平成18年度会計決算・監査報告

会計堀口氏は、会計収支決算書について、収入予算額のハイフンは、当初予算が計上されておらず、爾後補助金等が決定したので、実績額のみ計上した。支出は主な項目について説明し、実績額は収入1,503,454円、支出1,410,910円、差引残額92,544円を次年度へ繰り越す。

特別会計の拠点施設運営協力積立金は219,425円、県民交流広場事業は整備費補助金1,882,860円の内掲示板に192,700円を支出し、残額は次年度に繰り越し広報板の設置に充てる。活動費補助金は執行していない旨説明し、平成19年4月3日に監査を受けたと述べ、監査浅井氏が記述のとおり監査報告をした。

国司議長から、健康カラオケサロン会計について、昨年5月から実施しており、社協の補助金5万円と参加費で運営してきた。43回で435名の参加があった。収入66,300円、支出59,357円、次年度繰越6,943円、19年度から特別会計にする旨の説明があった。

④第3号議案 平成19年度委員選出

国司議長は、各ブロックにおける役員選出の進捗状況説明を順次求め、それぞれの状況説明があり、17日までに決定するよう要請した。

⑤第4号議案 平成19年度役員選任

国司議長は、各ブロックに対し順次ブロック代表の選出状況を問い、各ブロックから状況説明を受けた。

続いて総務は東逆瀬台ブロック浜崎氏と西逆瀬台ブロック正田氏、会計は北逆瀬

台ブロック堀口氏と光ガ丘ブロック岩井氏、監査は青葉台ブロック結城氏（他一名未定）を確認した。

次にコミュニティ代表選出について一同に意見を求めた結果、国司議長は中村一雄氏を代表に推挙した。

中村氏から総合活動計画内容について開陳があり、中村・国司の両氏が草案を練り直し、17日に臨時役員会を開催して再度諮ることが決まった。

⑤第5号議案 平成19年度活動計画

次回臨時役員会で決定。

⑦第6号議案 平成19年度会計予算

堀口氏は収支ともほぼ前年度と同様の予算で、補助金等は確定しているものだけを計上しており、収入合計及び支出合計は950,570円。

特別会計の拠点施設運営協力金積立金は、前年度残額に今年度収入90,000円を加え、今年度残額309,425円。県民交流広場事業は国司議長から概算整備費690万円、活動費122万円を計上する旨説明があり、新ふれあいいいきサロンを加え3特別会計なる。以上新中村代表と打ち合わせをして草案を作成し、臨時役員会に諮り決定することになった。

2. 平成18年度宝塚市まちづくり協議会補助金実績報告書の提出について

16日関係者数人で報告書を作成し、提出期限24日までに提出する。

3. ブロック会議・部会報告について

特段の報告事項なし。

4. 「平成18年度県民交流広場事業」事業計画状況報告について

掲示板4枚を廊下他3箇所に取付。市販品にしたので46万円の予算を、工事費を含めて170,940円に減額できた。ほか掲示用マグネット3,820円、掲示物ストック用レターケース3個2,940円、ステンレスカッティング銘板（県指示の補助事業名表示プレート）15,000円、合計192,700円が19年度県民交流広場事業の執行額になる。残額は広報板設置に充当して2～3基増設できる。広報板の最終見積は136万円11基で5月末までに完成する。光ガ丘の増設分は追加する。

5. 平成18年度まちづくり協議会補助金第5条第1項4・5号について

①第4号 地域ごとのまちづくり計画17万円で防犯安全プレート3種類270枚を発注した。4月末には納品されるので、各ロックに配布し取り付けて貰う。賞金（標語応募当選）19,800円(図書券)は、当選者からの寄付を採納し野鳥等の図鑑を購入する。

②第5号 スローライフ事業10万円内3万円は市の事務局費に納付。

7万円は裏山整備費としてルート標識62枚（1枚千円）の作成に充てる。原稿を出し次第作成納品してもらい、樹木に針金で取り付ける。ゆずり葉台にコース標識柱を1本設置したい。3万円の事務局費は残額が出れば戻入されるので、その節は雑収入に計上する。

以上